



2025年3月15日 第177号
NPO 法人町田市学童保育クラブの会
所在地 町田市中町 1-19-5
大貫ビル 202
電話 042-794-7235
広報担当 発行

第6期中期計画の進捗状況

当法人では2024年度から2026年度までの3カ年計画として第6期中期計画をスタートさせています。子どもや保護者を取り巻く社会背景とテーマを踏まえ、第6期中期計画の目標は以下の4点としています。今年度取り組んだ内容を報告いたします。

- ① 子どもへの支援のあり方を見直す
- ② 保護者への支援のあり方を見直す
- ③ 町田の学童保育・子育て支援事業の発展に寄与する
- ④ 法人の質的強化をすすめる



- ① ・2024年度に高学年の活躍の場を広げるためにオンラインを活用し、高学年による全学童保育クラブ合同での話し合いの場を設け13クラブ合同行事を実施しました。次年度以降も継続して実施します。
・2025年度にそよかぜ学童保育クラブとなんなる学童保育クラブが統合され成瀬学童保育クラブになるため、クラブ合同行事や支援員間での引継ぎを継続的に行い子どもたちが安心して過ごせる環境を整えています。
・支援員の専門的知識の習得のため、2024年度に子どもの人権・実践（避難訓練・野外活動・伝承あそび）の研修、実践検討会を行いました。今後行う予定です。
- ② ・保護者懇談会を学年別やテーマ別に分かれて行うなど、保護者同士の顔の見える関係作りを行っています。
- ③ ・子育て支援事業『ぷちくれよんひろば』 近隣公園での屋外開催を計画しました。また、SNSによる広報活動を始めました。今後は子育ての専門講師の派遣など充実した内容になることを目指します。
・子どもの居場所事業『ロケットキッズ』 企画を2回実施し、12月には宿泊を伴う企画を行いました。引き続きボランティアやインターンシップ生の受け入れを積極的に行い、対象者を拡大し事業の発展を目指します。
- ④ ・法人運営を発展させるために業務改善プロジェクトを立ち上げ、見直し・改善を順次行っています。また、職員の働く環境を整えるためにメンター制度導入を目指し、制度や規程の調査を始めています。

目次

- 1面：第6期中期計画の進捗報告
- 2面：ぷちくれよんひろば
『自然災害 学童保育支援募金』の取り組みについて
- 3面：職場体験/13クラブ合同行事の様子
- 4面：クラブ紹介（どろん子クラブ・成瀬中央あおぞらクラブ・高ヶ坂けやきクラブ）



今後の予定

ぷちくれよんひろば（子育て支援事業）

3月 開放：12日

企画：19日

4月：お休み



ぷちくれよんひろば

当法人では子育て支援事業として、5ヶ所の学童保育クラブ施設を開放し、地域の乳幼児と保護者の方が一緒に過ごせる居場所づくりを行っています。毎月1～3回程度（4・8月を除く）の開催を基本としており、開放日には、乳幼児用のおもちゃなどを利用し、自由に室内で遊ぶことができます。月1回の企画の日には、誕生会と季節の工作や触れ合いあそびなどを行います。

今年度の企画の『生き物を探してみよう』では、お部屋の中にトンボやセミなどの虫の絵を貼りました。子どもたちの手でも握りやすいサイズの虫取り網（金魚すくいなどのポイサイズ）を手に持ち、虫の絵に向かって「エイッ」と網を当てて虫取りを楽しんでいました。『リズムあそびを楽しもう』では、ガチャカプセルで作ったマラカスを手首につけ、『おもちゃのチャチャチャ』の音楽に合わせて音を鳴らして踊りました。

保護者同士で交流し、お子さんと室内のおもちゃで自由に遊べる場となっていますので、ぜひご利用ください。



詳しくはぷちくれよんひろばのHPをご覧ください。公式LINEアカウントで、毎月室内開放や企画情報の配信をしています。ぜひ右記QRコードよりご登録をお願いいたします。

ぷちくれよんひろばHP【https://www.machida-gakudou.com/service/service_345.html】

2025年度開催クラブ

高ヶ坂けやき学童保育クラブ/南大谷学童保育クラブ/
なかよし学童保育クラブ/どろん子学童保育クラブ/大蔵学童保育クラブ
※そよかぜ学童保育クラブについては、2025年5月より
高ヶ坂けやき学童保育クラブでの開催に変更となります。

【開催時間】 10:30～11:30（月1～3回程度水曜日開催）



『自然災害 学童保育支援募金』の取り組みについて

東日本大震災から13年が経過し、昨年1月1日には能登半島地震が起こりました。それだけではなく、豪雨被害等各地でさまざまな大きな災害が起こっています。

全国学童保育連絡協議会では、災害によって被災した地域の学童保育を支え、恒常的・緊急的な支援に活用するために、『自然災害学童保育支援募金』を設けるとともに、制度・施策の抜本的な拡充・確立を国や自治体に向けて求めています。

皆様からお預かりした募金は、つぎのような取り組みに活用しています。

- ①学童保育施設の再建・補修や必要な備品などへの支援
- ②学童保育の運営費への補助
- ③研修・相談活動など指導員への支援
- ④学童保育の復旧・復興・拡充を支える体制づくりのため、被災した地域の学童保育連絡協議会等に対する支援

当法人では上記の活動に賛同し、この支援募金に協力しています。ご協力いただける方は、事務局、各学童保育クラブにお声掛けください。よろしくお願いいたします。



13クラブ合同行事

12月26日（木）に法人の全13クラブをオンラインでつなぎ、プロジェクターを使って交流しました。また今回の行事は13クラブに在籍する4年生以上の高学年の子ども達が企画内容を考えました。始めに各クラブの顔合わせをした後、企画のレクリエーションでは南地区と北地区に分かれて行い、「〇〇といえば？」と出されたキーワードから連想したものが他クラブと被らなければ勝ちの『お題当てゲーム』と〇か×かを答える『〇×ゲーム』を行いました。どのクラブも盛り上がり、他のクラブに手を振る子や「もう一回やりたい」と言う子もあり、大成功の合同行事企画となりました。



中学生職場体験（そよかぜクラブ）

◎つくし野中学校 11月20日（水）～22日（金）

初日は緊張した様子でしたが、一緒に過ごすうちに打ち解けて、子どもたちも「今日も遊ぶ」と楽しみにしていました。午前中に室内の飾りを作ってくれたり、おやつの時間に紙芝居を読んでもくれました。飾りを見た子どもたちは大喜びでした。中学生からは「子どもたちが楽しく過ごせるように工夫していることが分かりました」と感想をもらいました。



◎南成瀬中学校 1月22日（水）～24日（金）

生徒の中にはそよかぜクラブの卒会生の子もいて、クラブを懐かしむ様子がありました。午前中は掃き掃除などを行い、おやつの中には紙芝居を読んでもくれました。その中には卒会制作で作成したオリジナルの紙芝居があり、子どもたちは興味深く聞いていました。最終日、中学生からは「楽しい時間でした」という話を聞き、帰り際、何人かの子どもたちで見送りました。



クラブの一コマ

今年度の連載企画は13クラブの様子を『クラブの一コマ』と題して紹介していきます。日常の一コマを切り取り、学童保育クラブの様子や過ごし方など写真や文章を通して知っていただければと思います。

今回は、どろん子クラブ・高ヶ坂けやきクラブ・成瀬中央あおぞらクラブの外あそび、帰りの会、学習の様子をご紹介します。



どろん子クラブ

どろん子クラブの人気のあそびは、おにごっこやドッジボール、野球、一輪車です。秋には落ち葉を集めてブーケを作ったり、落ちてくる葉を捕まえようとジャンプしたり、落ちてくるイチョウの葉を見て「ちょうちょうが飛んでるみたい」と目をキラキラさせています。自然に触れあそびを楽しんでいます。



成瀬中央あおぞらクラブ

帰りの会では、司会の3年生以上の子どもたちが皆に向けてミニゲームをしたり、紙芝居を読んだりしています。この日は決まったマスの中で上手にしりとりが終わるように工夫するゲームを行いました。「最初に『ま』がついて、最後が『ん』の3文字なんてあるかなあ？」などと、一生懸命考えていました。他の日には連想ゲームやジェスチャーゲームなど、頭の体操を行うようなあそびを楽しんでいます。



高ヶ坂けやきクラブ

学校がある日は、帰りの会の後に学習時間を設けています。班ごとに座り、「今日の宿題は何だっけ」「プリント1枚だけだよ」とお互いに声をかけあいながら取り組んでいる様子がみられます。宿題が終わった後は、学童保育クラブにある本を読んで過ごします。『理科の学習漫画』や『整理整頓』、また『友だち関係』などのソーシャルスキルが学べる学習漫画も人気があります。

